

## 秋深し図書館まつりに集う人

### ～第4回図書館まつり～

11月15日(土)、市立図書館で『第4回図書館まつり』が開催され、お父さんやお母さんに連れられた多くの子どもたちが訪れ、楽しい秋のひとときを過ごしました。

今回の図書館まつりのテーマは『和と話と輪～なごやかなお話は心をまるくする』で、多くの人に図書館の魅力を知ってもらうため、お話や紙芝居ばかりでなく、牛乳パックなどを使ったリサイクル工作のコーナーや手作り手芸コーナーを設けたり、鉾山町の自然写真展や長沼町の絵本屋ほこべんの店主、飛鳥詩子さんの講演『絵本は赤ちゃんから老人まで生きる力がいっぱい』などが行われました。

3階に設けられた『お話の部屋』と1階のロビーでは、図書館や市内の小学校で読み聞かせを行っているボランティアグループなどによる手話の歌やパネルシアター、手遊びなどが披露されました。お話の山場では、身を乗り出したり、悲鳴が出そうになって慌てて手で口をふさいだり、お母さんにしがみついたりなど、子どもたちは巧みな話術に導かれ、みんなお話に夢中になっていました。



▲『赤いはなのとなかい』を手話を使って歌う子どもたち

## 緑に囲まれた中で、プロの演奏にうっとり

### ～テナーサクソとピアノの魅惑の夕べの演奏会～



11月11日(火)、クリンクルセンター市民ギャラリーで『テナーサクソとピアノの魅惑の夕べの演奏会』（登別環づくり市民委員会主催）が開かれました。

この演奏会は、平成12年から毎年行われ、今年はプロとして活躍しているテナーサクソ奏者のきねぶちあきらさんとピアノ奏者の佐伯實佐夫さんを招き、定員を超える約220人が参加しました。

演奏会では、前半は『夕日のあかい帆、ダニーボーイ』などのスクリーンミュージックを演奏し、曲の合間のきねぶちさんの軽快なトークで笑いを誘いながら、後半は『新潟ブルース、夜霧よ今夜もありがとう』などのムードミュージックを演奏。参加者はプロの演奏にうっとり聞きほれていました。

## あなたの歯は大丈夫？

### ～『いい歯の日』健康教室～

11月8日(土)、しんた21で『いい歯の日』健康教室（市室蘭歯科医師会共催）が開催され、子どもや保護者など約90人が参加しました。

この催しは、11月8日（いい歯の日）にちなみ、もっと歯の健康に関心を持ってもらうため行われているもので、登別市では始めて開催されました。

健康教室では、歯科医師による歯科ドック・口臭測定・唾液テスト・歯科相談のほか、歯科衛生士によるフッ素塗布などが行われ、子どもから大人まで多くの方が受けていました。歯から始まる健康づくりと題しての講演では、佐々木健さん（北海道保健福祉部医療参事）が、むし歯になる原因やむし歯の予防、歯を強くする方法などについて分かりやすく説明していました。

